

うるしをしる、
つながる。

令和5年
2月25日(土)
13:00-16:00

いわて 漆 サミット

会場／
プラザおでって
おでってホール他
(盛岡市中ノ橋通一丁目 1-10)

主催／岩手県
お問い合わせ／岩手県商工労働観光部
産業経済交流課
Tel.019-629-5535

事例発表会

会場／3F おでってホール

学生、民間団体、行政のそれぞれの立場から漆に関する取組を発表

学生の事例発表

- ▶岩手県立一戸高校
- ▶ジョエル・ティーレンさん

行政の事例発表

- ▶安代漆工技術研究センター
(富士原文隆氏)
- ▶日本遺産「奥南部漆物語」推進協議会
(二戸市、八幡平市)

民間団体の事例発表

- ▶株式会社小西美術工藝社
(取締役 福田達胤氏)
- ▶一般社団法人性世代漆協会
(代表理事 細越確太氏)

○意見交換会

資料展示

- ・岩手大学の学生による漆に関する研究のパネル展示、説明

会場／3F 特別会議室

- ・岩手の漆がわかる！
資料展示、説明コーナー
(浄法寺民俗資料館 館長 中村弥生氏)

会場／3F 大会議室

岩手県立一戸高校

漆産業関係団体と連携し、漆の種の発芽から育成、植樹まで一貫して取り組む。昨年度は苗木販売も実施するなど、漆産業との関わりが深い。



ジョエル・ティーレンさん

カリフォルニア大学バークレー校博士課程に在籍。岩手県立大学総合政策学部の研究員として、2021年11月から1年間二戸市に滞在。安比川流域の漆の歴史について美術史や生態学の側面から研究しながら、学生へ漆の授業を行うなど、漆文化の発信に貢献している。



八幡平市安代漆工技術研究センター 富士原文隆氏

安代漆工技術研究センターにて35年以上にわたり塗師の後継者育成に当たる。「教える」という考え方を重視した育成で、これまで70名以上の職人を輩出。自らの技術やアイディアを惜しみなく教える富士原さんを慕う修了生は多く、塗師のネットワークの構築に繋がっている。



株式会社小西美術工藝社 二戸支社 取締役(漆生産部門総責任者) 福田達胤氏

文化財装飾修復の最大手として、漆産地の発展と永続に貢献すべく平成28年に二戸支社を立ち上げ。初代支社長として業界初となる日本産漆の自社一貫体制に携わる。



一般社団法人性世代漆協会 代表理事 細越確太氏

2015年に東京から故郷の岩手県盛岡市上米内に帰郷。2018年に「一般社団法人性世代漆協会」を設立。山林や農地などを所有するウルシノキの育成者や植樹支援者の募集、発芽技術や樹液採取術の研究、樹液採取後の再利用等、幅広く活動している。



いわての漆

作家展

見て、触れて、買える。
いつもの生活に、いわての漆を。

2023年
2月25日(土)-26日(日)

10:00-16:00 (26日は15:00まで)

会場 岩手銀行赤レンガ館 (盛岡市中ノ橋通 1-2-20)

主催／岩手県

事業主体・お問い合わせ／manordaいわて株式会社 TEL 019-624-8100



滴生舎
(二戸市浄法寺町)



安比塗漆器工房
(八幡平市)



丸三漆器
(一関市大東町)



エキチカの漆市
(岩手町)

若手作家 コーナー



伝統的技法を用いつつ、
新たな表現を模索し從
来の形にとらわれない
漆製品を展開する作家
をご紹介。

- kinoshiru
- 寺嶋剛弘
- 工房汽水

期間限定！

お茶とてつびん engawa

盛岡市で南部鉄瓶を製造・販売している
kanakeno 直営のカフェ&ショップ。
期間中、漆器を実際に使用し白湯やコー
ヒーをお楽しみいただけます！

場所：お茶とてつびん engawa
(盛岡市中ノ橋通1丁目5-2 唐たけし寫場1F)
期間：「いわての漆 作家展」会期中
2023年2月25日(土)、26日(日)

